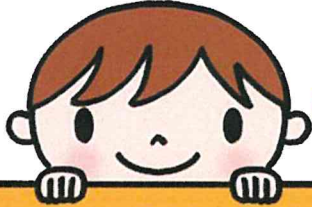
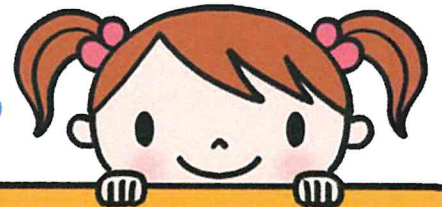




ご入園、ご進級おめでとうございます🌸春の訪れとともに新しい生活が始まりました。
子どもたちが健やかに、元気いっぱい過ごせますよう、「ほけんだより」を毎月発行いたします。
どうぞ宜しくお願いいたします。今回は体温計と非接触体温計の測定時の注意点についてお伝えします。



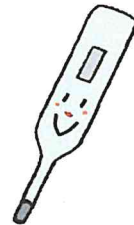
正しい体温の測り方



子どもの体温は健康状態を知る身近なサインのひとつです。健康な状態の平熱を把握し、正しい方法で測定することが大切です。コロナ渦で検温のスクリーニングとして、非接触体温計が多く用いられるようになりました。非接触体温計は額で測定するため、脇で測る体温計に比べると測定値に誤差が生じやすく注意が必要です。

体温計

- ・脇のくぼみの真ん中に体温計の先をあてる。
- ・子どもは汗をかきやすいため、脇の汗をしっかりと拭きとる。
- ・測定中は体温計の位置を変えない。
- ・運動後や食後、厚着をしている時、激しく泣いた後などは、測定値が高めに出る場合があるため、安静時に再度測定する。



非接触体温計

- ・直射日光の影響を受けやすいため、野外で使用する場合は日光を避ける必要がある。
- ・測定する場合、寒い場所から急に暖かい場所に入ると顔がほてるため、測定はほてりが落ち着いてから行う。額が冷たい場合は、室内の温度に慣れて額が温まるまで待つ。
- ・測定中は体を動かさないこと。
- ・前髪などが体温計と額の間に入らないようにして測定する。

・正しく検温できていない場合は最大±1℃前後の差が出る場合があるので脇で測定する。



脇の下の汗を拭く。



脇の下の中央に体温計の先を当てる。



体温計を斜め下から挟み、脇を閉じる。